

令和7年度山梨県常住人口調査結果報告書【年報】

令和7年10月1日現在の推計人口は783,870人

～ 24年連続の人口減少 ～

山梨県では、令和6年10月1日から令和7年9月30日までの調査結果を、令和7年度山梨県常住人口調査結果報告書（年報）としてとりまとめたので公表します。

－結果の概要－

1 本県の人口（人口については令和2年国勢調査確定値を基準に推計したもの）

- ・令和7年10月1日現在の人口は、783,870人
- ・前年に比べ6,345人（0.80%）の減少
- ・平成14年以降24年連続で減少、減少幅は2年ぶりに拡大
- ・4市町村で人口増加
- ・外国人の人口は、21,548人、5年連続で増加

2 自然増減・社会増減

- ・自然増減：6,988人の減少（21年連続の減少）
- ・社会増減：643人の増加（5年連続の増加）

（単位：人）

出生児数	死亡者数	自然増減 (A)	転入者数	転出者数	社会増減 (B)	増減計 (A+B)
4,142 (過去最少)	11,130	<u>△ 6,988</u>	32,701	32,058	<u>643</u>	△ 6,345

3 市町村の人口

- ・増加（4市町村） 昭和町(97人)、富士河口湖町(41人)、南アルプス市(30人)、鳴沢村(6人)
- ・減少（23市町村） 甲府市(△1,058人)、笛吹市(△542人)、富士吉田市(△503人)、都留市(△471人)、甲州市(△442人)他

4 外国人の人口

21,548人

- ・前年同月差 1,549人（7.75%）の増加

## 5 都道府県別転出入の状況

転入元 ①東京都 3,723 人 (19.23%)、②神奈川県 1,940 人 (10.02%)  
③静岡県 1,117 人 (5.77%)

転出先 ①東京都 4,661 人 (25.46%)、②神奈川県 2,213 人 (12.09%)  
③埼玉県 1,244 人 (6.80%)

## 6 県外移動理由（推計値）※回収率が 100%ではないため、移動者数と一致するよう補正処理を行った値

転入 ①転業・転職 4,035 人 (20.84%)、②転勤 3,767 人 (19.46%)、  
③随伴者 3,172 人 (16.39%)  
〈転入最多の年齢層〉  
20～24 歳(3,667 人)：①就職 1,573 人(42.90%)、②転業・転職 675 人(18.41%)  
③転勤 553 人(15.08%)

転出 ①就職 3,661 人 (20.01%)、②転業・転職 3,625 人 (19.80%)、  
③転勤 3,497 人 (19.11%)  
〈転出最多の年齢層〉  
20～24 歳(5,147 人)：①就職 2,907 人(56.46%)、②転業・転職 768 人(14.92%)  
③転勤 454 人(8.82%)

### <参考：20～24 歳について>

- ・転入、転出ともに最も高い割合を占め、その理由は「就職」によるもの。  
(転入者全体の 18.94%、転出者全体の 28.12%)
- ・県外への転出超過は 20～24 歳が 1,480 人と突出して多く、特に女性の転出が  
顕著である。  
(男性は 421 人、女性は 1,059 人の転出超過)

※詳細は、ホームページ「やまなしの統計」を参照してください。  
URL : [http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/HP/07jyoujyuu.html](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/HP/07jyoujyuu.html)